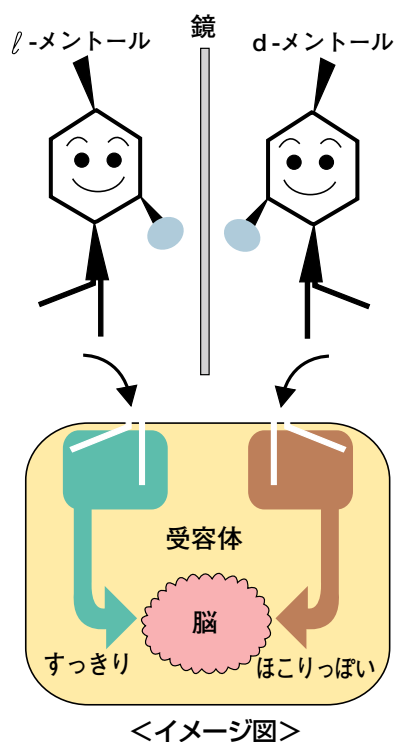


メントールの香り

暖くなるとともに花粉症の症状がでてきて、鼻やのどをすっきりさせたくてメントール入りのガムやキャンディーのご厄介になっている人は多いのではないのでしょうか。すっきりさわやかな香りのするメントールは、もともとは「ハッカ」という草から採れる成分で、正確には「^{エル}ℓ-メントール」というものです。



ℓ-メントールには、その姿を鏡に映した形の^{ディー}d-メントールがあります。このd-メントールには、ℓ-メントールのようなすっきり感の

ある香りはなく、「ほこりっぽい消毒薬」のようなにおいがするそうです。

しかしℓ-メントールとd-メントールはともによく似ているので、水に溶かすなどしても簡単には区別ができません。それなのにどうして私たちの鼻はかぎ分けることができるのでしょうか。

鼻から入った香りは、鼻の奥に存在する特定の受容体を刺激することによって脳に伝えられます。このとき、右手は右手用の手袋、左手は左手用の手袋でないと合わないように、左右対称の関係にあるℓ-メントールとd-メントールではそれぞれ刺激する受容体が異なります。そのために、私たちには違った香りとして感じられるのです。

鏡の中に映ったもうひとりの自分は、もしかしたら違う香りがするのかも……。

(平成17年4月)

